

# 令和3年度第1回坂井市総合教育会議 会議録（概要）

日 時：令和3年7月20日（火）午後1時30分より2時25分まで

場 所：坂井市役所 205会議室

## 【会議日程】

### 1 協 議

- (1) 令和3年度坂井市教育委員会主要事業について
- (2) その他

## 【出席者】

坂本憲男市長、川元利夫教育長、若松静榮教育長職務代理者、牧田靖夫委員、  
田中典夫委員、宮崎美恵子委員

総務部 松本総務部長

教育部 中田教育部長、古川次長（生涯学習スポーツ課長）、  
矢尾次長（市立図書館長）

教育総務課 井尻課長

学校教育課 小針課長、上田教育審議監

文化課 高倉課長（丸岡城国宝化推進室長（兼）、みくに龍翔館長（兼））

事務局書記 森田参事、高嶋補佐

## 【会議概要】

市 長 （あいさつ）

連日暑い日が続いておりますが、今日は、令和3年度第1回目となります「坂井市総合教育会議」ということで、皆様方にご案内をさせていただきました。何かとお忙しい中をご出席頂きまして、厚くお礼を申し上げます。さて、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種であります。本市としましては、学校での安全安心を高めることを目的に、12歳～18歳の子どもへの接種券を優先して発送をしております。

また、夏季休業期間中には特別会場を設けまして、教職員への接種も予定をいたしております。

新しい生活様式の中でも、市民が笑顔で、また子供達が心身共に元気に健やかに成長することを最優先に、市長部局と教育委員会部局が一体となって対策に取り組んで参りたいと考えておりますので、皆様方の変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願いを申し上げます。

本日は令和3年度教育委員会部局の主要事業につきまして、事務局からの説明後、ご協議を頂きたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

市 長 第1回坂井市総合教育会議を開催する。

令和3年度坂井市教育委員会主要事業について、事務局の説明を求める。

教育部長 それでは、「令和3年度坂井市教育委員会主要事業」について、各課長より説明する。

- 教育総務課長 新型コロナウイルス対策、学校プールの運用・整備、学校施設整備（トイレ、LED）の状況、今後のエアコン整備について説明
- 学校教育課長 児童生徒一人一台タブレットを有効活用するためのICT機器やソフトの充実（寄附）、学校図書の充実（寄附）、教員の負担軽減及び多忙化解消、学校給食負担金軽減事業（6月補正予算）について説明
- 生涯学習スポーツ課長 全国高校総合体育大会サッカー競技、古城マラソン、B&G・SUP 寄贈による自然体験事業について説明
- 文化課長 坂井市文化財保存活用地域計画の作成、六呂瀬山古墳群調査整備事業の推進および調査報告書の作成、みくに龍翔館改修工事について説明
- 市立図書館長 ブックスタート・「おしいれのぼうけん」複製画展、丸岡・坂井図書館照明器具LED化工事、丸岡図書館内 今川節楽譜等のレプリカ展示品の作成、講演会について説明
- 市長 意見等はないか。児童1人1台タブレットを配置して、状況はどのようなか。
- 教育長 審議監、学校訪問での様子など説明を。
- 教育審議監 ほとんどの学校が、1日に1回はタブレットを開くように授業をしている。小学校1年生でもタブレットで写真を撮って、教員用のパソコンに転送するとか、skyメニューの方に上げることができるようになっている学校もある。先進的な取り組みをしている学校を紹介できるよう、夏休みにICT担当を集め、研修を計画している。どの学校も足並みをそろえてやっていけるようにしたい。
- 牧田委員 授業支援ソフトとはどのようなものか。
- 学校教育課長 先生が、タブレットへ問題を送信すると、子供たちの画面に問題が出る。子供たちが回答をタブレットで入力し、それを回収すると、先生のパソコンへ回答が来る。65インチのモニターへ個人の回答を映したり、グループ学習で共有することもできる。子供たち同士で共有できたり、先生と子供で共有できたりするソフトである。
- 若松職務代理者 学校訪問で各学校を見せていただいた中で、コロナ禍で、教育機器の使い方が早まったかなと感じた。主体的対話的で深い学び。これを、マスクをして、なるべく顔を合わせないでどういう風に対話的なことをやっていくのかと思っていたが、教育機器の利用で効果をなしていると思った。ただし、学校間の差があると感じた。後期訪問では変わるだろうとは思っている。研修や人事異動で平均化されてくるだろうと思う。

- 教育長 夏休み中にしっかり研修をしていく。また、業者とも連携していきたいと思っている。
- 田中委員 学校図書館のシステムは、合併前、町によってばらばらだったが、今はどうなっているのか。それと、学校図書が充実してきてありがたいが、廃棄に困っているのではないかと思う。市立図書館のノウハウを学校へ伝授いただけるといい。
- 学校教育課長 現在は市内統一のシステムである。図書の廃棄については、昨年度から図書館アドバイザーを置き、廃棄や選書のアドバイスをいただいている。学校教育課に籍があるが、三国北小学校を本務校として、各小学校を回っている。
- 教育長 市立図書館との連動もしている。
- 市立図書館長 市立図書館の本を配本してもらっている。廃棄のことで、市立図書館の廃棄に合わせて、運搬等のお手伝いができると思うので、お声掛けくだされば、協力する。
- 宮崎委員 学校訪問へ行くと、校長から学級サポーターや支援員の配置にととても感謝している声を聞く。先生方をサポートする方たちはまだまだ足りないのかなと感じる。増やしていくような対応をしたらいいと思う。
- 学校教育課長 例えば、手が不自由になった子に支援員をつけてほしいと要望があれば、すぐに対応できるようにしている。まだまだ足りないとは思いますが、学校の状況、その子の状況に応じた対応をしていく。
- 市長 坂井市では福井県内でも支援員の配置は多い。先生方へのサポートは手厚いと思っているが、どこまでやるかということでもある。
- 教育審議監 坂井市内の学校は、35人や30人といった県の基準に近い学級が他市町より多い。20人程度の学級は支援員なしでもやっつけていけるが、35人いると、学校で授業する立場としては、支援員が何人いてもいすぎることはない。
- 教育長 古城マラソンでスタートラインとゴールラインの通過でタイム計測するというが、先頭と最後尾のスタート時点の差は大体どのくらいか。
- 生涯学習スポーツ課長 号砲でタイムを測っていたときは、スタート地点から30mの間に選手がいた。ソーシャルディスタンスを保って並んでもらおうと思うと、2倍の60m必要。100mまでの中に納まると思っている。時間にして30秒程度で通過していくと思われる。
- 市長 古城マラソンは11月7日で、県内者に限定するというが、コロナが収束した

わけでもない。11月7日といえば越前ガニ解禁の翌日で観光客も多いと思われる。そのような中で無理して開催しなければならないのか。参加者の半数以上は児童生徒であるが、その安全安心をどう確保するか、開催までに少し考えていただきたい。

教育部長           はい、この件は考える。

牧田委員           先日、千葉で痛ましい通学中の事故があったが、通学路に関して、点検や見直しをしないといけないと思う。交差点には児童生徒が集まるから、学校近くの交差点にはポールのようなものがあるとあったおかげで助かったということもあるのではないか。設置をしてほしい。

市 長               危険箇所は結構あって、財政的に厳しいと思っている。ガードレールがあるから安心というものでもなく、狭いからかえって危ないとか、田んぼ道だから安全というものでもない。

教育長             通学路は、それぞれの学校が安全な道を模索して、保護者と歩いてみて、通学路として申請し教育委員会がそれを指定する。安全について、学校へ点検を働き掛けたい。

市 長               これをもって本日の会議を閉会する。